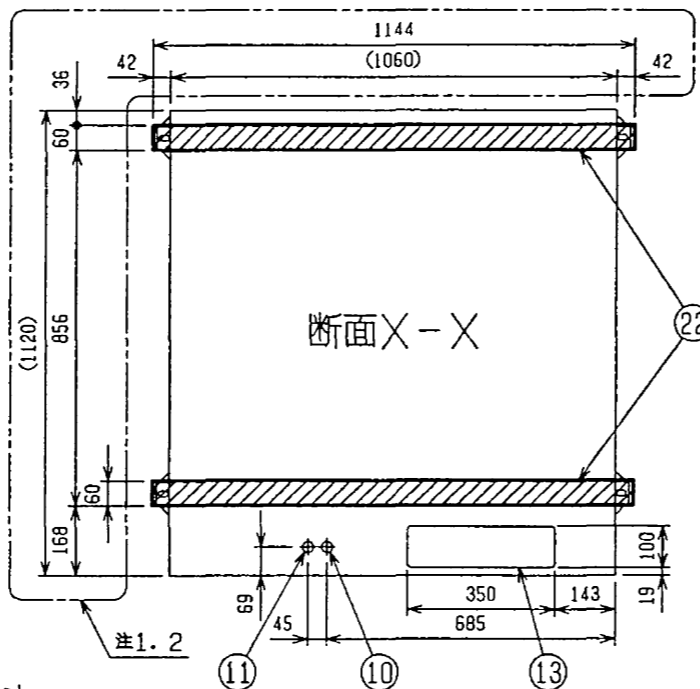


平面図

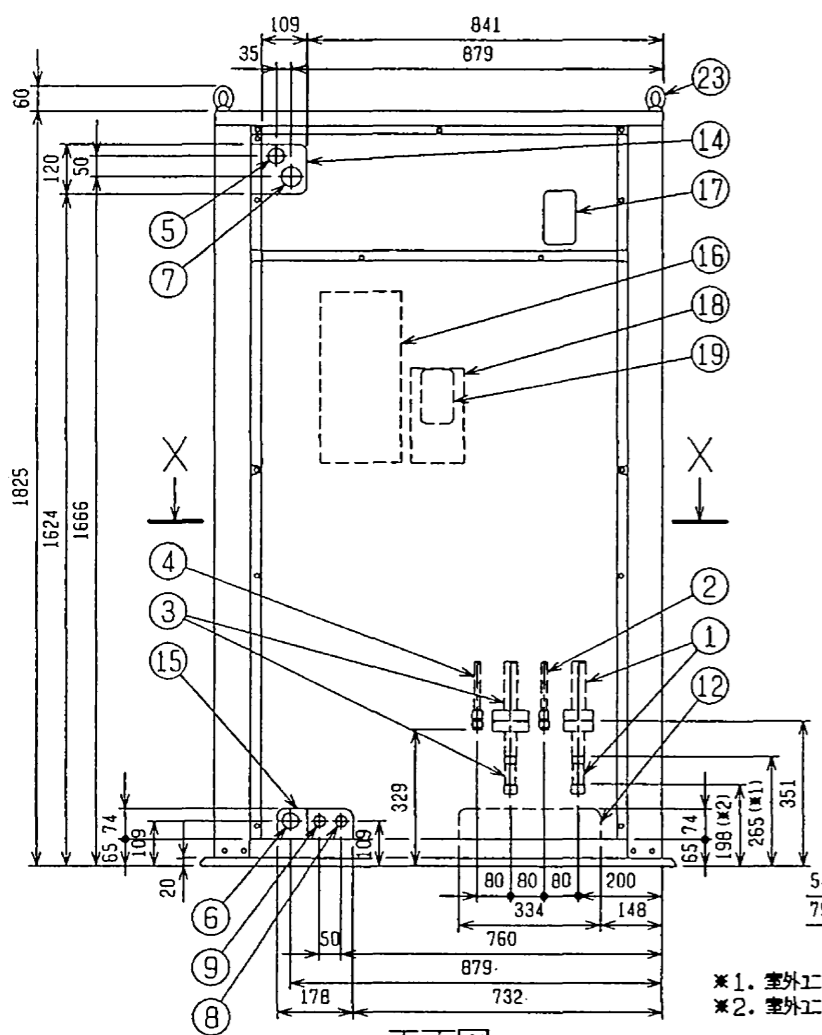


断面X-X

- ① 室外ユニット冷媒配管<ガス>
P224形の場合-----φ25.4<フランジ>
P280形の場合-----φ28.58<フランジ、付属短管使用>
- ② 室外ユニット冷媒配管<液>-----φ12.7<フレア>
- ③ 室内ユニット冷媒配管<ガス>
室外ユニットがP224形の場合---φ25.4<フランジ>
室外ユニットがP280形の場合---φ28.58<フランジ、付属短管使用>
- ④ 室内ユニット冷媒配管<液>-----φ12.7<フレア>
- ⑤ 給水管-----1B
- ⑥ 排水管-----1B
- ⑦ オーバーフロー管-----1 1/4B
- ⑧ 前面電源線穴-----φ27
- ⑨ 前面伝送線穴-----φ27
- ⑩ 底面電源線穴-----φ27
- ⑪ 底面伝送線穴-----φ27
- ⑫ 前面配管通し穴<ノックアウト>
- ⑬ 底面配管通し穴
- ⑭ 給水管、オーバーフロー管通し穴
- ⑮ 排水管、電線通し穴
- ⑯ 削り端
- ⑰ 水位計窓
- ⑱ タイマーキット<別売部品>
- ⑲ タイマーキット窓<ノックアウト>
- ⑳ 蓄熱槽
- ㉑ 基礎ボルト穴<4-14×20長穴>
- ㉒ 基礎<据付架合><現地手配>
- ㉓ 吊用アイボルト

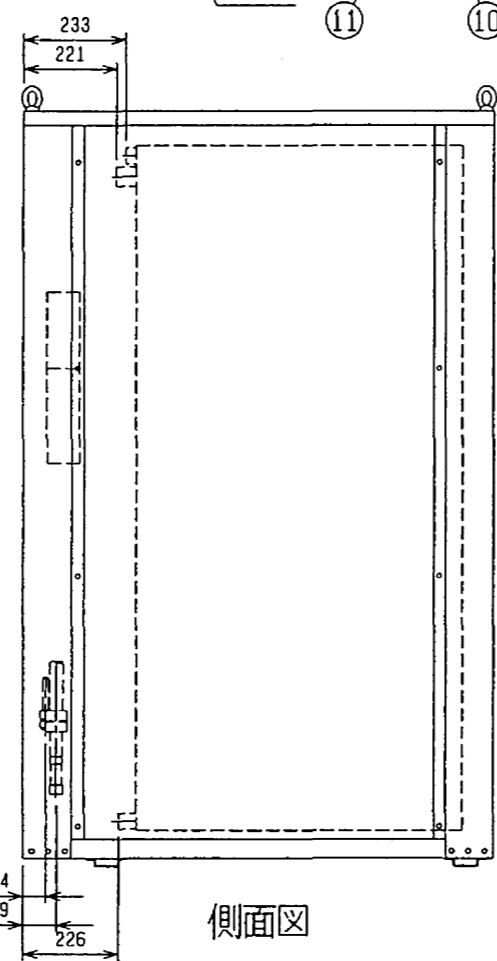
蓄熱槽全容積：1.16^m (有効容積：1.0^m)
蓄熱槽寸法：高さ1655×幅900×奥行776

- 注1. 基礎（据付架合）は、少なくとも断面X-X図の斜線部分を確保してください。これ以上広い基礎とする場合は、下取出し時の冷媒配管、電線管が施工できる寸法としてください。
- 注2. 蓄熱槽ユニットの運転重量は、1261kgとなりますので、それに充分耐えられる基礎（据付架合）としてください。据付架合設置の場合は、少なくとも基礎ボルトの真下を支柱受けしてください。
- 注3. 濡れて困るものの上にユニットを据付けしないでください。外気条件によってはユニット下部から結露水がたれます。結露水がたれて問題となる箇所では、排水処理、集中ドレンパン（別売）設置等の処理を現地で実施してください。結露しても熱減量は性能面から見て問題ありません。
- 注4. 蓄熱槽への給水は、必ず日本冷凍空調工業会の水質基準に従ってください。
- 注5. 下図に示すサービススペースを確保してください。

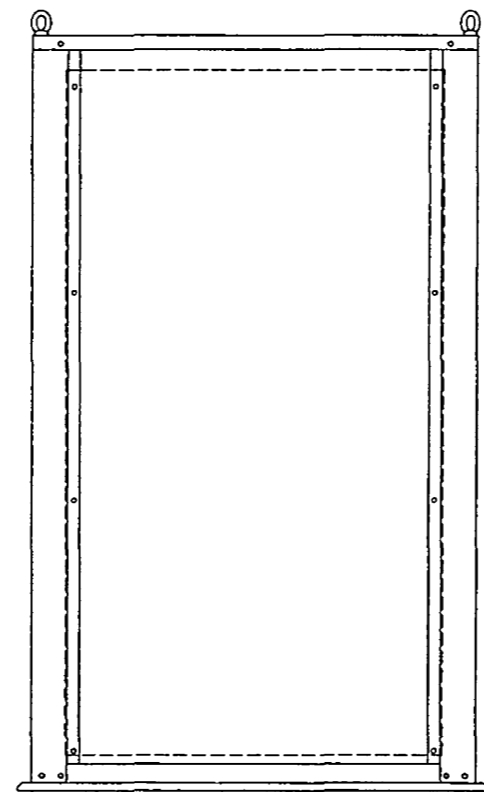


正面図

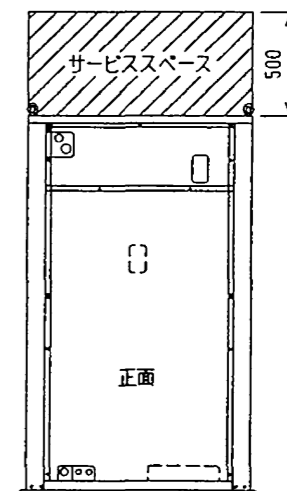
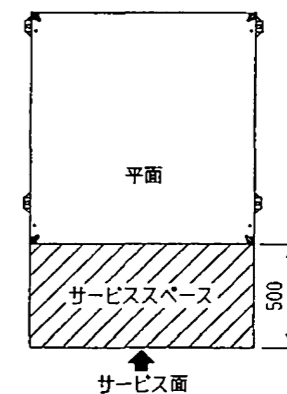
- *1. 室外ユニット P224形接続の場合
- *2. 室外ユニット P280形接続の場合<付属短管使用>



側面図



背面図



改定 CHANGE

		MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION		STY-P10RM-A (-BS, -BSG)	
DIM. IN mm		作成日付 DATE	02 - 08 - 09	承認 APPROVED	
尺度 SCALE		作成 DRAWN		ユーザー USER	
		照査 CHECKED		FILE A001	
		設計 DESIGNED		大文字 PAGE	
<h1 style="margin: 0;">W649872</h1>					